

ギブソン・アコースティックはどれも、表現力、品性、そして美しさに溢れています。それらは皆、並外れて素晴らしい、芸術家の熟練された手によってのみ出来上がるものであり、二つとして同じ表情のものはありません。ギブソン・アコースティックは市場に溢れる多くの「良く似たアコ」とは全く違うのです。ギブソン・アコースティックは上質な音色、プレイビリティ、美しさのどの点においても、他の多くのアコースティック・ギターとはかけ離れており、それはマスタービルトによっててしか生み出せないものなのです。

Master Builtとは何か？

秘密その1 “Dovetail Neck-To-Body Joint”

ネックをボディに組み込む際に用いるこの技法は、まるで、もともとそれらが一本の木であったかのように、ギターを形成する二つの重要な要素をつなぎ合わせる事が出来ます。他のネックジョイント方式を採用するギターとは違い、ダヴテイル・ネック・トゥ・ボディ・ジョイントは、弦の振動を余すことなくギター全体に伝え、木の美しい音の響きへとかえるのです。



秘密その2 “上質なヴァイオリンに通ずる伝統的な仕上げ”

今日の多くのギター・メーカーは製造工程の時間短縮を計るための、さまざまな光るコーティング方法を考え出しますが、これらは決して本当の響きを引き出すことは出来ません。ギブソンは今でも純正なラッカー・フィニッシュをすべてのアコースティック・ギターに採用しています。このギブソンのフィニッシュは、自然と融合しやすく、年月を重ねるごとに木に馴染み込むのです。上質なヴァイオリンがそうであるように、この伝統的な仕上げは、上等なワインのように時間の経過とともに楽器の音色を甘くするのです。



秘密その3 “カーヴド&スキャロップド・ブレイシング”

ギブソンの芸術家たちは、もう100年以上も前から、楽器の表板が単なる“振動する壁”でないことを知っていました。ギブソンは、ブレイシングを扇形になるよう削ったり曲げたりして、音がギタートップの中央に集まるようにしています。一本ごとに手作業で行われるこの技術があるからこそ、“ギブソン・ガール”と、アーティスト、サウンド・エンジニア、そして多くの音楽好きに認められているのです。



秘密その4 “X”ブレイシング

ギブソンは、アコースティック・ギターの伝統的なXブレイシングを採用しています。テンプレートのパターンに沿ってしっかりと接着されたギブソンのXブレイシングは、構造的にも耐久性にも優れているばかりでなく、音の響きを効率良くギター全体に伝える工夫がされています。ハンドメイドだからこそ、ハイ・クオリティのオーディオ・スピーカーから流れるような迫真性をもった“ギブソン・トーン”が生まれるのです。



楽器というものは、演奏されたときに初めて命が芽生え、その楽器の個性と弾き手とが混ざり合うことで独特の表現が生まれるのです。ギブソンのビルダー達は、そんな楽器と弾き手との関係を大事にしています。彼らがどのようにしてギブソン・アコースティックの感銘的なサウンド、手にした時の感触、そして目を見張る美しさを作り上げていくのかをご紹介します。

Meet the Master Builders

ギブソン・アコースティックのブリッジもまた丹精込めて作り上げられた芸術品の一つであります。あの有名なギブソン・ムスタッシュ・ブリッジを含め、ギブソン・アコースティックに欠かせない重要な要素であるブリッジは、ローレン・ジョンズの手によって一つ一つ形作られています。

ギブソン・アコースティックは長年、ギブソン・ビルダーたちによって受け継がれてきたテクニクをもつ、トラディショナル・ニトロセルローズ・ラッカー・塗装が施されています。12年の経験と積み、ギター・フィニッシュのマスターであるヴァン・フェルドナーが施すギブソン・サンバーストは、その類い稀なる美しさと卓越した技能により世界中から称賛を浴びています。



Loren Jones



Van Feldner



Mike Mills

ヤマノテクニカルサービス

ヤマノテクニカルサービスは弊社が輸入するギブソン・ギターの品質に責任を持つ、リペアサービス部門です。充実した設備と優秀な技術陣によって出荷前に入念な製品チェックから極めて細やかなアフターサービスまで、お客様のご要望にお応えします。



①ギブソン社から供給を受けているバフィングウィール。



②製品チェックを持つギブソンギター達。



③製品仕様、演奏性、塗装仕上げ等を丹念に検査していく。



④まるで工場のような設備配置で検品や調整・修理が行われている。

Warranty

ギブソンの日本総代理店である山野楽器が正規輸入したギブソン・ギターには、山野楽器発行の保証書と愛用者カードが添付されています。1年間の動産保険の加入申込書を兼ねるこの保証書は、同製品がギブソン社及び山野楽器で行われる検品をパスし、規定内の保証サービスを提供出来ることを証明するものです。お買い上げの際には必ず山野楽器発行の保証書をご確認下さい。もしも、あなたのギブソン・ギターに調整や修理が必要となった場合、弊社リペア・サービス部門にご相談下さい。弊社リペア・サービス部門は、小さな部品から、塗料に至るまでギブソン純正品を揃えております。また、作業にあたるリペア・マンは、ギブソン社の技術者から直接指導を受けて

おります。これらは、どれもギブソン社と直接契約を結んだ正規輸入代理店ならではのサービスです。あなたの大切なギブソン・ギターがいつまでもベストコンディションでありますよう、お手伝いさせていただきます。

※修理ご依頼の際には必ず山野楽器発行の保証書を提示して頂きますようお願い致します。提示なき場合、一部の部品や修理、サービスの内容が制限される場合がございます。ご不明な点がございましたら、弊社リペア・サービス部門にご相談下さい。

気温と湿度の変化からの保護

ギターをはじめ、木製の楽器にとって一番注意すべきことは湿度や温度の変化です。湿度が高いと接着剤が溶けたり、ボディの表面、特にフラットトップギターやクラシックギターのトップが膨張してもち上がり、弦高が高くなる場合があります。逆に、気温が高く乾燥した気候の場合にも別な危険性があり、木材が過度に乾燥することにより、ひび割れが生じたり、ボディの表面、特にフラットトップやクラシックギターのトップが収縮して、弦高が低くなる場合があります。経験からいって、ギ

ターにとって理想的な環境は、摂氏20.5℃程度、湿度40%~50%程度。これに比べると冬期の室内湿度はかなり低すぎます。お買い上げになったギターは、極端な熱や冷気にさらされないようご注意ください。特に、自動車のトランクには放置しないように気をつけてください。乾燥を防ぐには、室内の加湿器や、ケース用には小型加湿剤を数個ご使用になるとよいでしょう。

アコースティックギター製品の取扱について

ハンドメイドのギブソンアコースティックギターは管理された環境の中で作られています。ギブソン社ではギターが製作されている工場の室温は通常平均22℃で40%~50%の湿度が保たれています。もしあなたのギブソンギターが長い間このレベルの湿度を保てないと(40%以下になると)、弦高が低くなり、その結果としてひどい弦のビリつきが起こります。きわめて乾燥した状況の中では、表面の仕上げやギター本体のひび割れなど、とり返しのつかないダメージが発生します。当然のことながら、この種のダメージは品質保証の対象外となります。

ギターをケアし、こうした木の変化を防ぐための最善の方法は、そのギターが長く置かれる部屋の湿度を一定の水準に保つことです。小さな部屋用の加湿器によって、必要とされるレベルの湿度は大体において保たれます。家庭用の加湿器や携帯用の湿度計等をご利用いただくことをお勧めします。ギブソンアコースティックギターに付属されているサウンドホールヒューミディファイアー(加湿器)もまた、通常のレベルより湿度が低い環境でもあなたの楽器を保護するために役立ちます。